



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 21 年 10 月 24・25 日(土・日) 常盤の里 秋祭り開催 編

10月24～25日、恒例となった常盤の里秋まつりが開催されました。今年は天気にも恵まれ沢山人出となる予定でしたが、数日前から校内で新型インフルエンザが流行し始めたため、子供たちに「外出禁止令」が出て、小学校の学習発表会も中止となり、子供の声が聞こえないちょっと寂しい秋まつりになりました。

それでも常盤の人たちはイベントが大好きです。予想した以上の人が交流センターに集まって来てくれました。特におばあちゃん達はとても元気です。地区文化祭や農産物販売・食事販売も行われ、みそタンポ・豚汁は大人気でした。赤字覚悟の毘沙門炭の焼き鳥も激安価格もあり、早々に完売となりました。

我が家のイチオシのトマトも見事完売。おばあちゃん達が「まだこんなにきれいなトマトが採れるの」とビックリして買ってくれました。朝市のお客さんにはあまりない反応です。まちの人達よりも今の時期の地物のトマトの価値を分かってもらえて、ちょっとうれしい気持ちになりました。

でも、私が一番楽しみにしていた常盤林道の紅葉見学は大雨の被害で道路状況が悪くて中止になり、少し残念でした。来年は、青空の下で元気に走り回る子供たちの声が聞こえてくる、そんな秋まつりになるといいなあ。

文：石川 鮎子



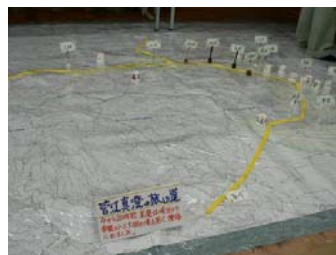
地域の木材がふんだんに使われた校舎は子どもたちばかりでなく、常盤の方々の集いの場でもあります。



常盤自慢の笑顔と品々が並びます。



常盤の歴史や風物を知る展示コーナーもありました。



菅江真澄の歩いた道は、現在の「のしろ白神の道」に繋がっています。



常盤の美味しさが凝縮した豚汁とガッコ。新米のおにぎりも美味でした。